

地域水産物の販売・加工活動による地域活性化

北薩地域振興局 林務水産課出水市駐在

【背景・目的】

北さつま漁協出水支所は、組合員数167名で、八代海南部海域を漁場に、タイ類、イカ類等を対象にした吾智網漁業、アジ等を対象にした一本釣漁業、クルマエビ等の刺網漁業、イワシ稚仔魚を対象としたバッチ網漁業等が営まれているほか、冬季は、鹿児島県で唯一、ノリ養殖業や打瀬網漁業が営まれている。

しかしながら、当地域においても近年の経営環境は、資源の減少傾向、高齢化、魚価低迷、燃油高騰など、厳しい状況にある。

このため、漁村女性起業化グループを育成しながら、支援事業を活用し、沿岸で漁獲される水産物の販売や加工販売に取り組むことにより、地域水産物の付加価値向上を図り、地域漁業の経営安定と活性化を図る。

【普及の内容・特徴】

- 1 平成20年度に設立した漁村女性起業化グループ（名称：JF北さつま出水女性グループいといより）の育成を図りながら、沿岸漁業者経営改善促進グループ等取組支援事業（全漁連）や学生等浜辺体験事業（県漁連）を活用する。
- 2 支援事業では定期的な販促活動の地域における定着化を図り、体験事業では地元小学生に地元で水揚げされた鮮魚やグループが製造した加工品の試食体験を実施した。

【成果・活用】

- 1 月1回のおさかな市（名護・新鮮おさかな市）が地域に定着化することにより、漁業者等が直接販売する機会や漁村女性の働く機会も定着した。また、それに伴って漁獲物の付加価値向上が図られた。
- 2 おさかな市では、漁村女性起業化グループの直営1店舗の他、水産関係店舗、農産物関係店舗等の販売ブースを提供することにより、農家や生活改善グループ等との交流が深まり、漁村地域の活力向上が図られた。
- 3 地元小学生の試食体験により、子ども達への魚食普及が図られるとともに、父兄に対してはおさかな市での販売活動をアピールすることができた。

【その他】

次年度の計画としては、地域に定着化した月1回のおさかな市を継続することで「出水」・「名護漁港」・「新鮮なさかな」についてのイメージアップを図りながら、支援事業の活用により加工機器を整備し、本格的な加工品の開発製造や販売にステップアップを図る。

1 グループの設立

設立年月日	平成20年9月5日
会員数	11名(10個人, 1法人(漁協))
グループ名	JF北さつま出水女性グループいといより

2 おさかな市実績(平成21年度)

開催回数	12回
店舗数	延べ96店舗
来場者数	延べ4,600人
グループ売上高	2,195千円



おさかな市販売風景



おさかな市販売風景



小学生料理体験